

令和3年度 もっと安心農産物 春夏にんじん栽培暦

J A佐原にんじん部会

1. 土づくり

完熟堆肥の施用や緑肥の利用で土づくりを行う

2. 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守 ☆化成由来窒素 10kg/10a以内

	肥料名	施肥量	
基肥	人参ブリケット 604	6-10-4(苦土1%有機態窒素1.9%)	240 kg/10a以下
	エコレット 808	8-10-8 (有機態窒素1.5%)	140 kg/10a以下
	苦土重焼燐	0-35-0 (苦土4.5%)	40 kg/10a
	苦土石灰(粒)	苦土10% アルカリ55%	80 kg/10a

3. 防除 ☆6成分カウント以内

(但し、ポリオキシシAL水和剤、Zボルドー、ゼンターリ顆粒水和剤は防除回数に含まない。)

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈倍数・処理量	使用時期 使用回数	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施等)
11月	土壌消毒 ※いずれか選択	センチュウ類	D-D (1)	1.5~2ml/穴	作付の10~15日前迄/1回	ネガサセチュウ ネゴサセチュウ コガネ類幼虫	しみ腐病回避の為水はけのよい圃場づくりを行う。 線虫の発生が多い場合は線虫拮抗作物・緑肥を作付ける。
			ディ・トラペックス油剤 (2)	3~4ml/穴	播種の21日前迄/1回	しみ腐れ病 センチュウ類	
			ダブルストッパー (2)	3ml/穴	作付の10~15日前迄/1回	しみ腐れ病 ネガサセチュウ ネゴサセチュウ	
12月	施肥	ネキリムシ	ネマトリンエース粒剤 (1)	20kg/10a	播種前/1回	ネガサセチュウ	均一に散布し、丁寧に土壌混和する。
			フォース粒剤 (1)	4kg/10a	播種時/1回	ネキリムシ類	
12月 ~ 2月	播種 トンネル被覆		クレマートU粒剤 (1)	4~6kg/10a	播種後発芽前/1回	畑地一年生雑草	重複散布は行わない。
3月	換気始め						
4月	間引き トンネル除去	アブラムシ・ヨトウムシ・黒葉枯れ病	ランネート45DF (1)	1,000倍	収穫前日/2回	ヨトウムシ	
5月	収穫		ロブラール水和剤 (1)	1,000倍	収穫14日前迄/4回以内	黒葉枯病 斑点病	通路の溝切りを行い、除草し且つ、水はけをよくする。 黒葉枯れ病は発病前に防除を行う。
			ポリオキシシAL水和剤 (0)	500倍	収穫7日前迄/5回以内	黒葉枯病	
			Zボルドー (0)	500倍	—	黒葉枯病	
6月			ゼンターリ顆粒水和剤 (0)	1,000倍	収穫前日まで —	ヨトウムシ	

☆みんなで守ろう生産基準